

## 令和2年度第3回いわき市廃棄物減量等推進審議会議事録

日 時 令和3年3月10日（水） 13:30～14:30

場 所 いわき市役所 3階 第3会議室

出席状況 17名中15名出席：過半数の出席者により会議成立  
(市廃棄物の減量及び適正処理等に関する規則第31条第2項)

会 長	大槻 雅彦	出				
副会長	西山奈津江	出				
委 員	赤津 剛洋	出、	池端 美雪	出、	梅村 一之	出
	押手 茂克	出、	越智 春子	出、	菅野 仁一	出
	工藤 隆久	欠、	白土 正衛	出、	高崎 祥子	欠
	豊田 銀子	出、	根本 宏	出、	野崎 友枝	出
	半澤 勝造	出、	人見 順子	出、	松尾 幸治	出

事務局 ごみ減量推進課長、課長補佐、庶務係長、計画係長、係員1名  
委託業者1名 計6名

- 議 事 (1) 「いわき市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（素案）」に対する市民意見  
募集（パブリックコメント）の実施結果について 【資料1】  
(2) 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（素案）について 【資料2】  
(3) 令和3年度一般廃棄物（ごみ）処理実施計画（案）について 【資料3】

### <<会議の成立>>

委員17名中15名の出席により「いわき市廃棄物の減量及び適正処理等に関する規則」  
第31条第2項の規定による過半数を満たしており、会議が成立していることを事務局よ  
り報告。

### <<議事>>

- (1) 「いわき市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（素案）」に対する市民意見募集（パブ  
リックコメント）の実施結果について  
【資料1】により事務局説明

(梅村委員)

- ・ パブリックコメントの提出がなかったということだが、周知方法については、ホームページへの掲載だけではなく、市の広報誌の活用などの工夫が必要であると思う。

[事務局]

- ・ 市の広報誌である「広報いわき2月号」にパブリックコメント実施のお知らせを掲載し、周知を図ったところであるが、今後は、他の効果的な方法についても検討したい。

(大槻会長)

- ・ 意見の提出がなかったということについては、市民が計画に対して賛成しているのか、市民の関心が低いのか、市としてどのように受けとめているか。

[事務局]

- ・ 行政側として、市民の関心を喚起出来ていないことは事実である。ホームページや広報誌において、基本計画に位置づけた施策の進捗状況などを掲載するといったフィードバックを行い市民への意識啓発を図る取組みを実施していきたい。

## (2) 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（素案）について

### 【資料2】により事務局説明

(松尾委員)

- ・ 【資料2】P23において、ごみ処理施設の延命化対策を検討しているが、どのくらい延命化が可能になるのか。

[事務局]

- ・ 北部清掃センターが10年程度、南部清掃センターが15年程度の延命化ができると考えている。

(押手委員)

- ・ 【資料2】P30において、家庭から排出された燃やすごみの組成割合のうち、竹木類が生ごみと可燃物に続いて多くなっているが、堆肥化等といった対策についての考えはあるか。

[事務局]

- ・ 竹木類組成割合の16.28%の内訳は把握していないが、竹木類のリサイクルなかで一番の問題は竹と把握している。事業者側からは竹のリサイクル先がなく、やむなく焼却していると聞いている。沿道の植樹から発生する剪定枝や工場緑化地帯の除草による枝葉などについて、有効なリサイクル等を検討したい。

(大槻会長)

- ・ 竹類の焼却については、カーボンニュートラルの考え方であれば問題ないとも考えられる。しかしながら、リサイクルするに越したことはない。

(押手委員)

- ・ 施設の長寿命化も含めて、焼却処理は避けるべきと考える。

(人見委員)

- ・ 【資料2】 P11において、焼却ごみ量は直近で増えているようだが、目標では減少している。個人的な実感としては、排出量は増えているように感じているが、新しい生活様式となったコロナ禍の実情はどのようになっているか。

[事務局]

- ・ 令和2年度4月から1月までの焼却ごみ量の累計は、集計途中であるが、前年度比94.28%（東日本台風等被災年度）、前々年度比95.98%（平時）となっており、今年度はやや減少傾向で推移していると思われる。

(大槻会長)

- ・ 新しい生活様式による影響はないということか

[事務局]

- ・ 災害のあった昨年度より減少傾向にあり、また、平時より減少している。
- ・ 新しい生活様式の移行直後の去年の春頃には、家庭系ごみにおいて排出量増加の影響があった。いわき市内でも断捨離による搬入量増加があり、清掃センターへ運び込む車両の渋滞が発生した。
- ・ 一方、事業者は営業自粛等により事業系ごみは減少したため、いわき市全体のごみ排出量においては、影響が見えなかった。
- ・ 現状、家庭系ごみの排出量はゆるやかに落ちてきている傾向が見受けられ、事業系ごみはまだ営業形態が以前通りではないため、全体としてはやや減っていると推察している。

(西山委員)

パブリックコメント実施前の素案確認時に【資料2】 P5「ごみ出し困難者」について、障がい者等の追加記載があり、了承した。

今後の課題としても、「ごみ出し困難者」への支援の在り方を検討していくべき。

### (3) 令和3年度一般廃棄物（ごみ）処理実施計画（案）について

【資料3】により事務局説明

(池端委員)

- ・ 【資料3】 P3「出前講座の開催」について、具体的にどのような対応になるのか。

[事務局]

- ・ 市職員が要望を受けた団体や施設へ出向き、説明を行う。

(池端委員)

- ・ 【資料3】 P3「家庭用生ごみ処理機等購入補助金」の来年度予算は確保できたのか。

[事務局]

- ・ 現在、令和3年度の予算案を市議会で審議中ではあるが、令和2年度が20万円程度であったところを令和3年度は、その3倍程度を確保できる予定である。